



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月10日
東

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所
コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績(2019年9月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	450	△11.4	3	△64.0	1	△94.0	△4	—
2019年8月期第1四半期	509	△3.8	9	259.8	16	117.6	19	—

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 △3百万円(—%) 2019年8月期第1四半期 17百万円(715.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	△0.47	—
2019年8月期第1四半期	1.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	2,878	1,344	46.6
2019年8月期	3,087	1,348	43.6

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 1,342百万円 2019年8月期第1四半期 1,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日~2020年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,200	13.2	130	256.5	120	196.0	60	166.1	5.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 2020年8月期の通期業績見通しにつきましては、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期1Q	11,300,000株	2019年8月期	11,300,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	1,221,077株	2019年8月期	1,221,077株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期1Q	10,078,923株	2019年8月期1Q	10,219,123株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料「1. 経営成績・財務状態に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復傾向にあるものの、消費税増税による消費減退リスクや頻発する自然災害等により、景気後退入りへの警戒が高まりつつあり、経営環境は、依然として厳しい状況となりました。また、国外においても、米中貿易摩擦等に起因する中国経済の成長鈍化や、英国のEU離脱問題等による経済動向と政策の不確実性により、世界的に先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の中、当社グループは、既存事業の成長促進と新たな収益基盤の構築のため、全事業にわたり継続的な投資とシステム開発を行ってまいりました。これまでの利益剰余金及び借入を原資として、各投資及び開発は進捗いたしました。一部既存事業の収益の伸び悩みが影響し、前年同期比減少で着地いたしました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高450百万円(前年同期比11.4%減)、営業利益3百万円(前年同期比64.0%減)、経常利益1百万円(前年同期比94.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益19百万円)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① 占いコンテンツ事業

当社では占いコンテンツ事業を、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに主にインターネット回線上で占いコンテンツを企画・制作・配信する占いコンテンツサービス(以下「占いコンテンツサービス」といいます。)と、ユーザーと占い師を電話等で直接結び付ける、双方向のやり取りを特徴とした One to One サービス(以下「One to One サービス」といいます。)の2つに分けております。占いコンテンツサービスでは、引き続きレコメンド機能開発・実装をはじめとしたユーザビリティ向上の施策を進めてまいりましたが、依然として会員数減少やコンテンツの短命化が影響し、収益ともに減少しております。一方で、One to One サービスについては、個別的な対応を求めるユーザー傾向の高まりに伴い、引き続き売上収益ともに増加し、占いコンテンツサービスの収益減少を支えました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における占いコンテンツ事業の売上高は389百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益127百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

② ゲームコンテンツ事業

当社グループのゲームコンテンツ事業は子会社「株式会社ブルークエスト」、「株式会社ルイスファクトリー」の2社でゲーム配信及び運営を行っておりますが、ブルークエストに関しては、収益性の観点から事業規模を縮小しており、収益のほとんどは、ルイスファクトリーによるものとなっております。当第1四半期連結累計期間においては、株式会社SQ(代表取締役 松本恒彦)との協業のもと、特に新規自社タイトル(注)の制作に注力してまいりました。一方で、制作を支える収益については、前事業年度におけるセカンダリー運営タイトル売却による運営数減少及び運営期間の長期化による収益性低下により、前年同期比減少となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるゲームコンテンツ事業の売上高は31百万円(前年同期比51.9%減)、営業損失3百万円(前年同期は営業利益3百万円)となりました。

(注)本報告書提出日現在リリース済みとなっております。(『コスプリ!』2019年12月リリース)

③ メディア事業

メディア事業においては、AIを生かしたサイトの運営を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、既存メディアの運用の他、新規メディア1本を制作・リリースいたしました。検索エンジンのアルゴリズム変更の影響を受け月次収益が予測を下振れる月も発生しましたが、前年同期と比較して既存メディアの運営が安定したことにより、営業損失を大幅に縮小いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるメディア事業の売上高は30百万円(前年同期比123.4%増)営業損失3百万円(前年同期は営業損失10百万円)となりました。

④ その他

当第1四半期連結累計期間における新規事業は、医療ツーリズム事業及び越境eコマース事業を推進する他、MR事業として、自社独自開発のリアルタイム実写立体動画撮影技術「SUPERTRACK」の継続開発に注力してまいりました。医療ツーリズム及び越境eコマース事業においては、国内外企業との事業提携をはじめとする顧客基盤の開

拓に努め、MR事業においては、プロモーションを目的とした他企業への技術協力に努めましたが、いずれの事業も先行投資段階のため、営業損失を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は0百万円(前年同期比92.5%減)、営業損失29百万円(前年同期は営業損失24百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

なお、資本の財源及び資金の流動性にかかる情報については、当第1四半期連結累計期間において、重要な変更等はございません。

① 資産の状況

当第1四半期連結累計期間の資産合計は、前連結会計年度末と比較して208百万円減少し、2,878百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少220百万円によるものであります。

資産の内訳は、流動資産2,441百万円、有形固定資産29百万円、無形固定資産205百万円、及び投資その他の資産201百万円となっております。

② 負債の状況

当第1四半期連結累計期間の負債合計は、前連結会計年度末と比較して204百万円減少し、1,534百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済176百万円によるものであります。

負債の内訳は、流動負債896百万円、固定負債638百万円となっております。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結累計期間の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して3百万円減少し、1,344百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、古いコンテンツ事業及びメディア事業を中心として安定的な収益を確保すると同時に、新規事業の育成を重視し、積極的かつ継続的な投資を行う所存です。MR事業における独自開発をはじめとして、医療ツールリズム、越境eコマース等の新規事業におけるシステム・体制構築に注力し、経営の多角化を進めてまいります。

なお、財務面に関しましては、これまで同様資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行う考えです。

連結業績予想につきましては、2019年11月22日の「2019年8月期 決算短信」で公表しました通期業績予想に変更はありません。当該連結業績予想に変更が生じた際は、各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、速やかに訂正・開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,302,339	2,081,356
売掛金	302,337	286,684
商品	5,574	5,101
仕掛品	11,617	14,133
貯蔵品	348	385
その他	59,757	56,395
貸倒引当金	△2,070	△2,172
流動資産合計	2,679,905	2,441,883
固定資産		
有形固定資産	22,164	29,762
無形固定資産		
のれん	25,209	22,058
その他	152,947	183,279
無形固定資産合計	178,156	205,337
投資その他の資産		
敷金及び保証金	102,621	102,668
その他	133,912	128,160
貸倒引当金	△29,439	△29,439
投資その他の資産合計	207,094	201,389
固定資産合計	407,416	436,489
資産合計	3,087,321	2,878,372
負債の部		
流動負債		
買掛金	90,203	71,429
1年内返済予定の長期借入金	718,081	693,013
未払費用	51,409	49,894
未払法人税等	12,555	5,330
未払消費税等	3,231	10,955
その他	73,906	65,659
流動負債合計	949,387	896,282
固定負債		
長期借入金	789,915	638,047
固定負債合計	789,915	638,047
負債合計	1,739,302	1,534,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	429,168	429,168
利益剰余金	985,001	980,237
自己株式	△514,204	△514,204
株主資本合計	1,351,424	1,346,660
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,564	△4,647
その他の包括利益累計額合計	△6,564	△4,647
非支配株主持分	3,159	2,029
純資産合計	1,348,019	1,344,043
負債純資産合計	3,087,321	2,878,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)
売上高	509,091	450,965
売上原価	265,687	239,570
売上総利益	243,404	211,394
販売費及び一般管理費	234,083	208,037
営業利益	9,320	3,357
営業外収益		
受取利息	2	52
投資有価証券売却益	4,213	—
受取和解金	5,000	—
その他	240	19
営業外収益合計	9,456	71
営業外費用		
支払利息	1,992	2,291
その他	21	137
営業外費用合計	2,014	2,428
経常利益	16,762	1,000
特別利益		
新株予約権戻入益	12,746	—
特別利益合計	12,746	—
税金等調整前四半期純利益	29,508	1,000
法人税、住民税及び事業税	2,388	1,289
法人税等調整額	7,472	5,724
法人税等合計	9,860	7,014
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,648	△6,014
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,250
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	19,648	△4,764

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	19,648	△6,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,565	—
為替換算調整勘定	230	2,037
その他の包括利益合計	△2,334	2,037
四半期包括利益	17,313	△3,976
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,313	△2,847
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,129

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	占いコンテ ツ事業	ゲームコンテ ンツ事業	メディア 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	426,531	65,869	13,111	505,513	3,578	509,091	—	509,091
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	655	655	—	655	△655	—
計	426,531	65,869	13,766	506,168	3,578	509,746	△655	509,091
セグメント利益又は セグメント損失(△)	131,981	3,780	△10,526	125,236	△24,973	100,262	△90,942	9,320

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、AI事業、VR事業などの新規事業を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△90,942千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用90,942千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	占いコンテ ツ事業	ゲームコンテ ンツ事業	メディア 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	389,434	31,700	29,560	450,695	269	450,965	—	450,965
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	1,190	1,190	—	1,190	△1,190	—
計	389,434	31,700	30,750	451,885	269	452,155	△1,190	450,965
セグメント利益又は セグメント損失(△)	127,721	△3,645	△3,193	120,882	△29,050	91,832	△88,474	3,357

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、VR事業の他、医療ツーリズム事業、越境eコマース事業などの新規事業を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△88,474千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用88,474千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。